

富山県立高岡支援学校



教育機関

本校は、昭和40年（1964）、知的障害者を教育の対象とする特別支援学校として、富山県下で最も早く設置されました。小学部、中学部、高等部があり、卒業後の自立と社会参加に向けた系統的な教育を行っていることが特徴です。

また、特別支援学校のセンター的機能として、専門性の高い教員を幼・小・中学校等に派遣し、アドバイス等も行っています。

共生社会の実現に向けてSDGsに取り組んでまいります。

<p>【目標】 障害のある児童生徒が持てる力を最大限発揮できる支援体制の整備</p>	 
<p>【主な取り組み】 高岡市教育委員会や高岡市立小・中学校等と連携し、児童生徒の実態とニーズに応じて柔軟な学びの場の変更を行う。 地域における特別支援教育のセンター校として、特別支援教育コーディネーターを小・中学校等の要請に応じて派遣し、支援する。</p>	
<p>【目標】 児童生徒が主体的に取り組める特別活動や就業体験の推進</p>	 
<p>【主な取り組み】 地域清掃等のボランティア活動を小学部段階から実施し、児童生徒が主体的に取り組めるようにポイント制等を取り入れ、働くことへの意欲を育てる。 学校での実習から職場での実習まで、障害のある生徒の卒業後の就労に向けた系統的な授業と職場開拓を推進する。</p>	
<p>【目標】 働き方改革として会議時間の短縮とペーパーレス化の推進</p>	 
<p>【主な取り組み】 GIGAスクール構想で県立特別支援学校に配置されたタブレット端末を活用し、紙媒体を用いない会議を進める。 情報研修を実施し、教職員のIT活用能力の向上を図る。</p>	

高岡を持続可能なまちにするために

高岡における知的障害者を教育の対象とする特別支援学校として、

障害のある子供が自分の力を最大限に発揮できる教育のあり方を探求し、

発信することで、高岡の就学前から小・中学校等に在籍する障害のある子供たちが

障害のない子供たちと共に、安心・安全に学ぶことができるまちづくりに貢献します。